

次世代 HERO

Next Generation's Hero



はまだわかな
濱田和奏 さん

山口県夏休み小学生
読書感想文コンクール
山口県知事賞

大好きなお姉ちゃんと本を読んだり、一人で読んだり、1日に10冊程度、本を読みます。



昨年、山口県夏休み小学生読書感想文コンクールで、最高賞の山口県知事賞を受賞した熊野小学校2年生の濱田和奏さんを紹介します。

小学1年生から6年生までが応募する読書感想文コンクールで、県内55校の校内審査を通過した優秀作品226点の中から山口県知事賞に選ばれました。

濱田さんは、お母さんに買ってもらった「心ってどこにあるのでしょうか？」

という絵本の感想を1週間かけて原稿用紙3枚にまとめました。

「ころさんはからだじゅうにあるんだね」と感じた濱田さんの感想文は、発想がユニークで、子どもらしく、初めて知る喜び、わくわくした気持ちが表現されていました。

本を読むのが大好きで、明るく、前向きな性格の濱田さん。「次は、動物の本を読んでみたいな」と笑顔で話してくれました。



夏休みを 過ごす下関の 子どもたちへ



市長コラム
希望の風
市長の部屋

こんにちは。市長の前田晋太郎です。私たちはこの半年間、さまざまな不安と同時に、新たな生活スタイルを余儀なくされる時間を過ごしてきました。市民の皆さん一人一人にそれぞれ大きな苦労があったと思います。

学校では安全を確保した上で、授業時間も確保する新たな取り組みを進めてきました。そうこうしているうちに、あっという間に8月を迎え、下関市の子どもたちは、いよいよ夏休みに突入です。

今年は授業を補うために、夏休みが昨年より3週間少なくなりますが、幸いにして下関市では昨年エアコンを完備したので、暑さ対策は大きく前進しています。小中学生の皆さんは休みが少なくなっている残念ですか？ 友達に会うことができず、うれしい気持ちと半々なかな？ 自粛・休業期間中は友達にも会えず外出も控えるなど窮屈な生活を経験しました。学校に行けること、給食が食べられること、友達と楽しく過ごせること、

今まで当たり前と思っていたこと、たさまたま日常が実はそうではなかったことに気付いたと思います。

皆さんは、私たちの「宝」です。これからどんな苦労があっても、常に感謝の心を持ち、他人（ひと）を思いやることのできる優しい大人に成長して欲しいと願っています。